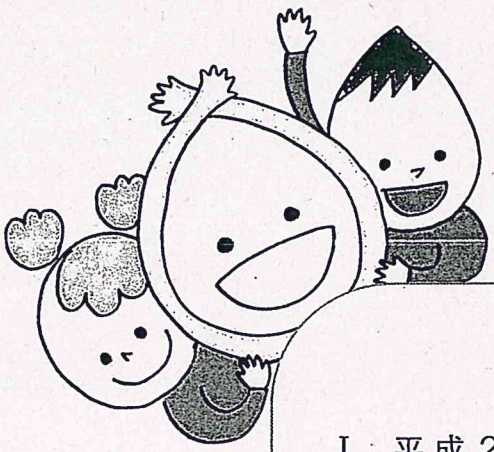
資 料4

平成２８年度
山口市市民活動支援センター
さぽらんて　事業報告書



≪目　次≫

Ⅰ　平成２８年度事業背景……　１ｐ
Ⅱ　主な事業分類……　４ｐ
Ⅲ　委託契約に基づく事業報告
　１　施設管理……　５ｐ
　２　普及・啓発……　６ｐ
　３　相談……　10ｐ
　４　人材発掘・養成……　11ｐ
　５　協働促進・
　　ネットワーク……　15ｐ
　６　団体事務局支援……　20ｐ
　７　その他……　21ｐ
Ⅳ　運営……　21ｐ
Ⅴ　今後に向けて……　24ｐ

平成 29 年 3 月

運営受託団体：特定非営利活動法人山口せわやきネットワーク

平成28年度山口市市民活動支援センターさぽらんて事業報告

（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

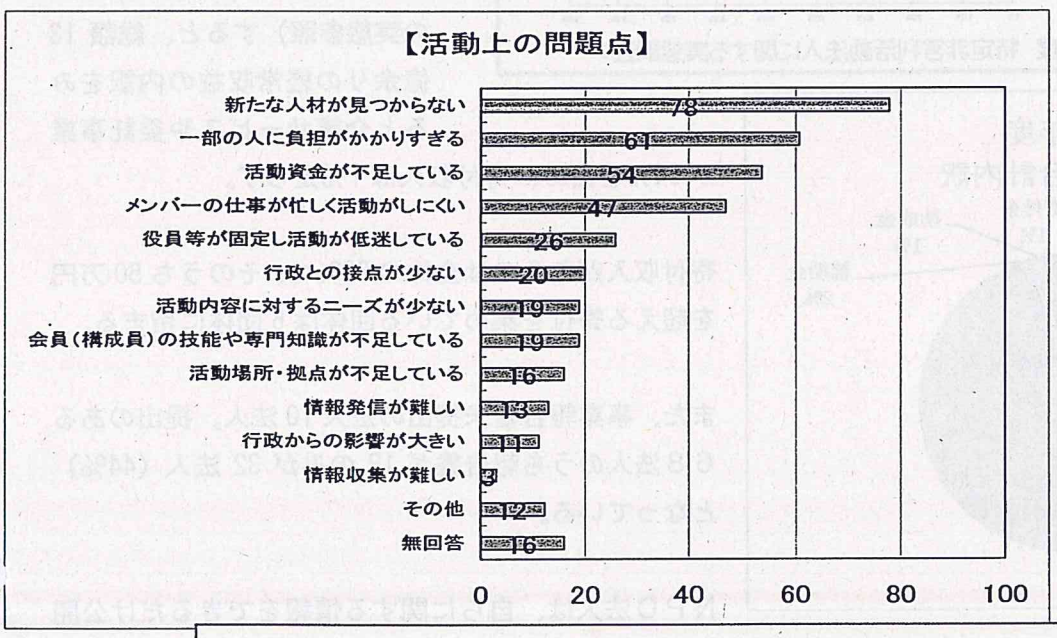
Ⅰ　平成28年度さぽらんて事業背景

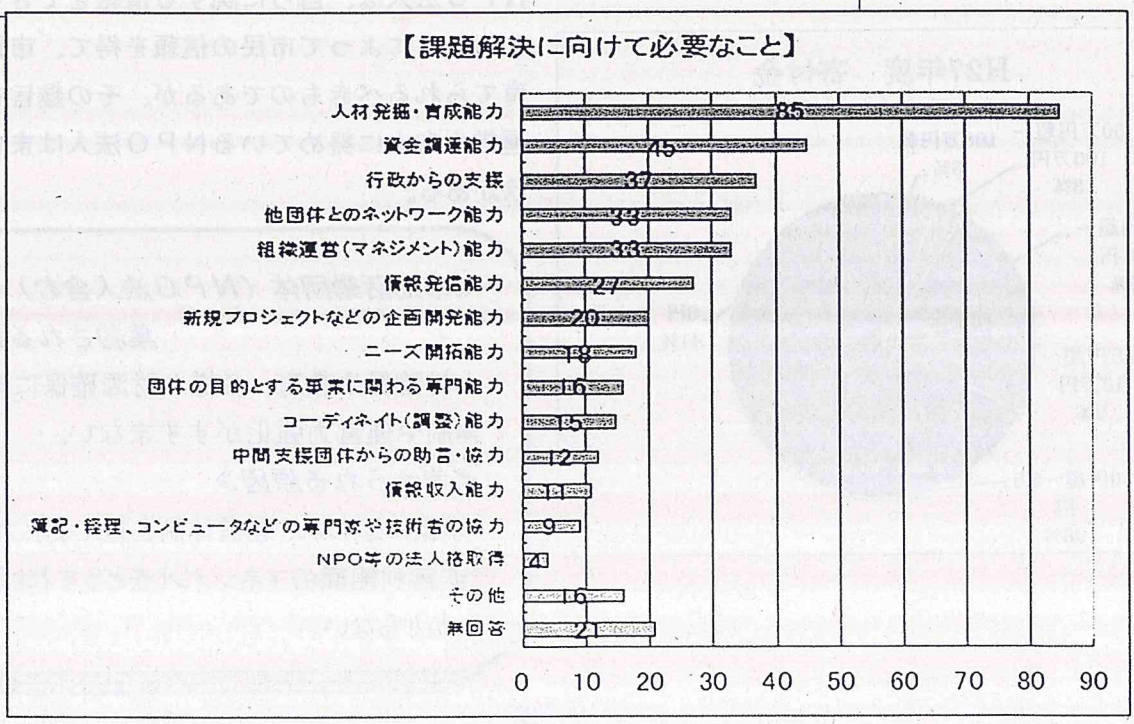
山口市の協働推進条例に基づいて、市民や市民活動団体が協働のまちづくりに向けて役割を果たせるように支援をする中で、下記の課題も踏まえ計画的に事業を実施。

1　市民活動支援を行う上での課題認識

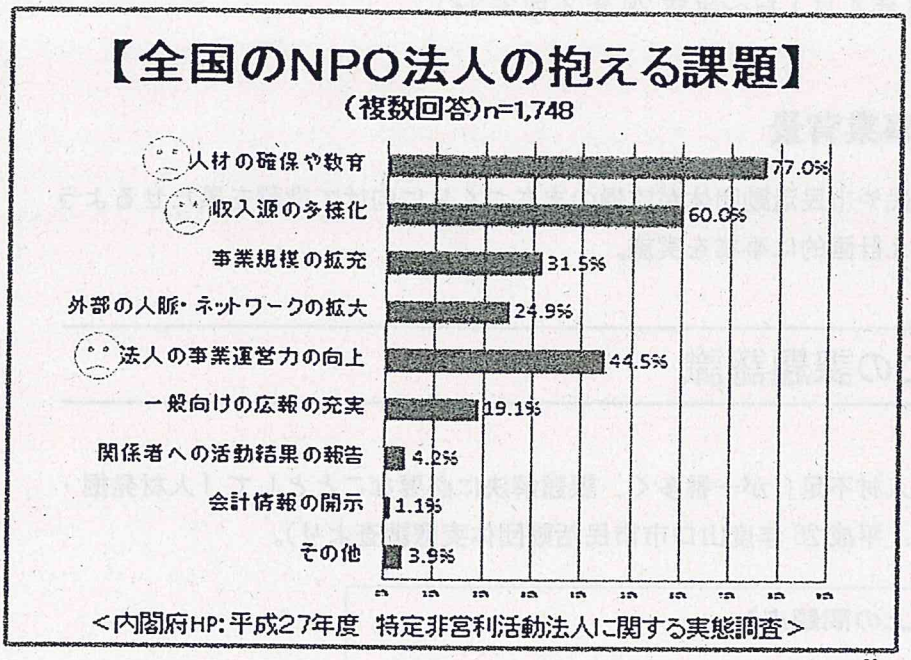
山口市の市民活動団体の課題

市内の市民活動団体が抱える課題は「人材不足」が一番多く、課題解決に必要なこととして「人材発掘・育成能力」となっている（下記グラフ：平成26年度山口市市民活動団体実態調査より）。



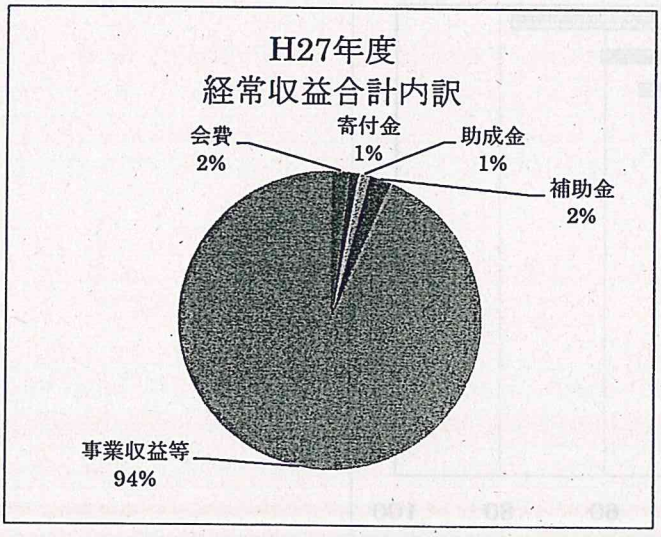


ＮＰＯ法人に特化した課題

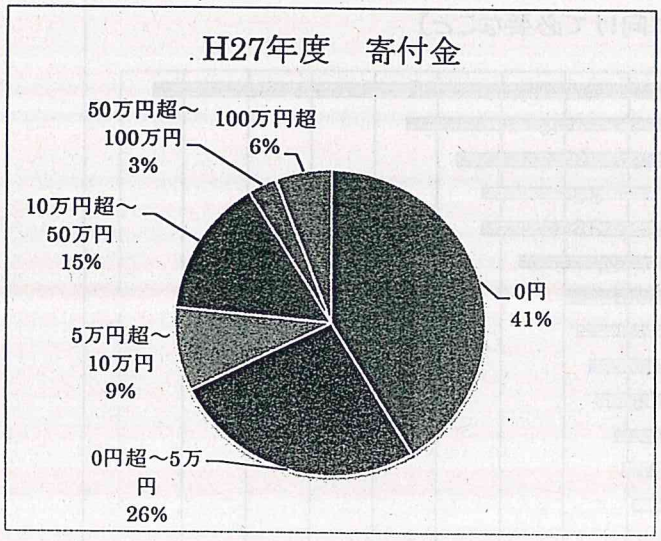


内閣府のＮＰＯ法人の実態調査によると山口市の市民活動団体と同様「人材確保や教育」が一番の課題となっています。続いて、「多様な収入源」「法人の事業運営力の向上」となっている。

山口県のＮＰＯ法人データベースの中から山口市のＮＰＯ法人の会計状況を集計（報告書資料：山口市のＮＰＯ法人の実態参照）すると、総額 13 億余りの経常収益の内訳をみると介護サービスや委託事業が 94%を占め、寄付収入は 1%足らず。



寄付収入があるのは全体の 59%で、そのうち 50 万円を超える寄付を集めている団体は 6 団体に留まる。



また、事業報告書未提出の法人 10 法人。提出のある６８法人のうち報告書が 1P のみが 32 法人（44%）となっている。

ＮＰＯ法人は、自らに関する情報をできるだけ公開することによって市民の信頼を得て、市民によって育てられるべきものであるが、その趣旨を理解し、運営力向上に努めているＮＰＯ法人はまだ少ない現状がある。

≪市民活動団体（ＮＰＯ法人含む）の集約される課題≫

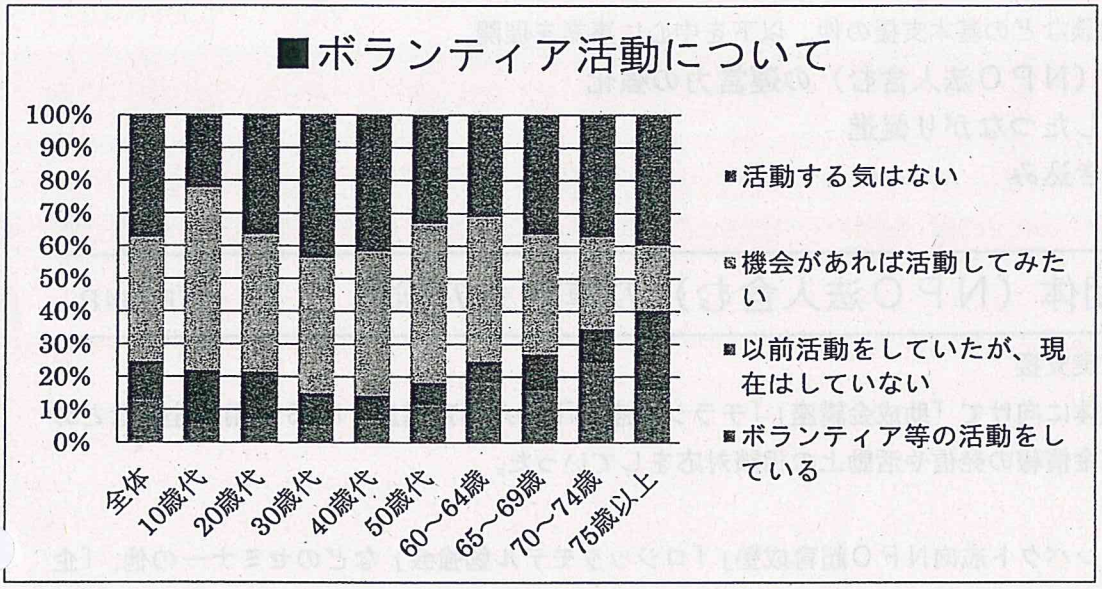
人材確保や教育、多様な財源確保に向けての体制や運営力強化がすすまない。

≪考えられる原因≫

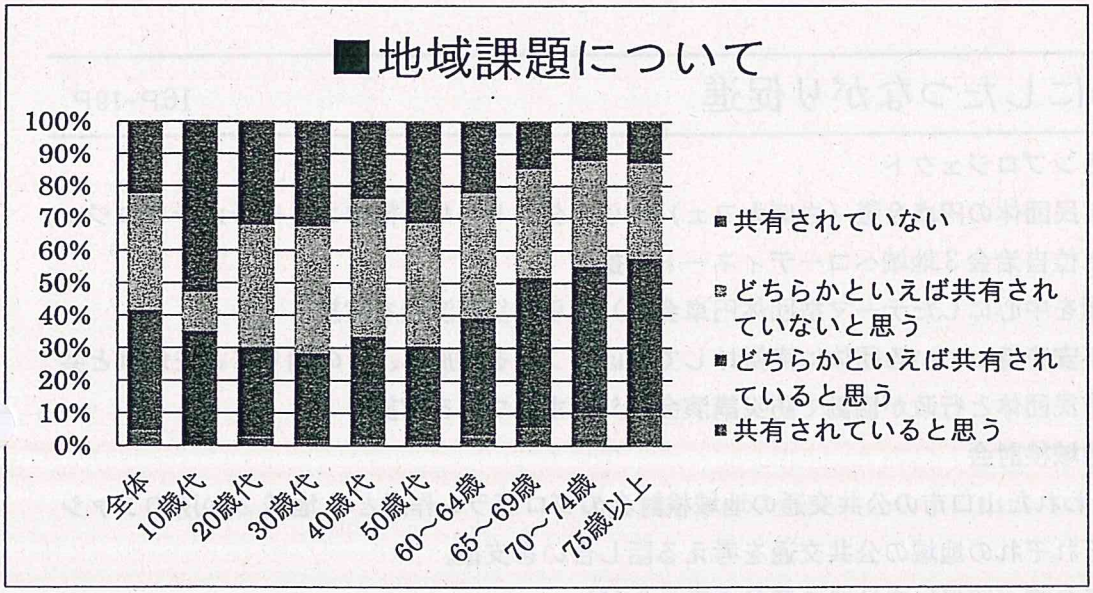
・事業に追われ、運営体制を整える余力がない。
・非営利組織のマネジメントをどうすればよいのかわからない。

市民意識の現状

山口市まちづくりアンケートから



10代～60代までのボランティア意欲は平均値を超え、特に10代、20代のボランティア意欲が旺盛な様子がうかがえる。



全体的に「共有されていない」「どちらかといえば共有されていない」が半数を超える。「共有されていない」「どちらかといえば共有されていない」という思いは、20代～50代は65%以上を占め特に高い。

≪市民側の集約される課題≫

①学生や一般の「機会があれば活動したい」と思っている人が多いのに活動できていない。

②２０代～５０代の市民で「地域課題が共有できていないと思う」人は、65%以上を占める。

≪考えられる原因≫

①活動のきっかけがない。（情報がない、忙しくてもできる活動がないなど）

②地域課題を共有する機会がない。（情報がない、話し合う場がないなど）

Ⅱ　平成28年度さぽらんての主な事業の分類

Ⅰの課題を踏まえて相談などの基本支援の他、以下を中心に事業を展開。

1　市民活動団体（ＮＰＯ法人含む）の運営力の強化
2　課題を中心にしたつながり促進
3　若い世代の巻き込み

1　市民活動団体（ＮＰＯ法人含む）の運営力の強化　11P−14P

（1）市民団体活動充実支援

広く市民活動団体に向けて「助成金講座」「チラシ講座」「Excel 活用講座」「SNS 活用講座」などの講座の他、助成金情報の発信や活動上の相談対応をしていった。

（2）ＮＰＯ支援

「ソーシャルインパクト志向ＮＰＯ超育成塾」「ロジックモデル勉強会」などのセミナーの他、「企業×ＮＰＯのつながりプロジェクト支え人。」として寄付金 265,594 円が集まった。

ＮＰＯ法人へのクラウドファンディングへの支援も行い、2 法人で 300 万円もの寄付が集まった。

その他、ＮＰＯ法人を目指している団体へのビジョン整理などの訪問支援を５団体に向け１８回実施。

2　課題を中心にしたつながり促進　16P-19P

（1）地域版コドモジカンプロジェクト

平成 27 年度の市民団体の円卓会議（さぽカフェ）からスタートした「街中コドモジカンプロジェクト」を大内の単位自治会 3 地域へコーディネート支援。

（2）さぽカフェ（課題を中心にしたテーマ型団体円卓会議）から防災講演会を実施

災害時の支援の不安を持っている団体に声掛けしてさぽカフェを実施し、その困りごとを地域と共有するために、市民団体と行政が協働で防災講演会とシンポジウムを実施

（3）山口市公共交通地域検討会

市内 10 地域で行われた山口市の公共交通の地域検討会のプログラム作成と 4 地域 2 か所のファシリテートを行いそれぞれの地域の公共交通を考える話し合いを支援。

（4）市民活動団体円卓会議（協働に向けての意見の吸い上げ）

協働をテーマに協働推進課を交えて夜の部、昼の部それぞれ 2 回ずつ実施。11 団体が参加。

3　若い世代の巻き込み　14P-15P

（1）若者の社会貢献コーディネート事業

若者ボランティアを必要とする市民活動団体とつなぎ、社会課題や社会貢献の意義に触れ、参加の場を提供し、双方が共通の目的・目標を持って活動できるようにコーディネート。

（2）中学生職場体験プログラム

「こども向け社会貢献教育プログラム」の確立に向けて、職場体験を受け入れた（3 年目）。

（3）インターンシッププログラム

大学生からの申し出により、大学と調整して受入れ体制を整え、実質 11 日のインターンシップを初めて受け入れた。本人の充実度も高く今後も計画的に受け入れ予定。

Ⅲ　委託契約に基づく事業報告（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

契約書に基づき「施設管理機能」「普及・啓発及び情報収集・提供機能」「相談機能」「人材発掘・養成機能」「協働促進・ネットワーク機能」「事務局支援機能」別に以下のとおり報告します。

1　施設管理

山口市中心商店街へ設置された拠点機能（ハード）を活用した支援機能（ソフト）となるため、市民活動団体への支援を中心に幅広い利用者を想定し、下記の対象別エリアを設定し対応。

【対象別エリア】

〇市民の自由な情報交差点（入口オープンスペース）

一般市民が自由に入館でき、情報収集しやすいレイアウトに。また、入館しない市民へも配慮し、ショーウインドーも活用した。

〇団体の自由な活動形態を応援（会議室・2 階ワークスペース・和室）

会議・講座はもちろん、専用事務所を持たない市民活動団体の作業場としても、出来る限り活動しやすい方法で柔軟に対応。

〇気軽に相談できる場（1 階拠点管理事務スペース）

職員に気軽に相談できる雰囲気を大切に、登録団体との情報交換や気づきの共有を心がけた。

（1）開 館 日

水曜日及び年末年始（12／29～1／3）を除く毎日

開館日数：３０７日

閉館日数：　５８日

（2）開館時間

平日・土曜日：１０：００～１９：００

日曜日・祝日：１０：００～１８：００

※利用団体の 10 時からのイベントや講座などの準備に合わせて、9 時より対応可能とした。

（3）各種手続き書類の配置

①市民活動団体向け

□登録市民活動団体への提供サービスのしおり

□市民活動団体登録用紙

□会議利用報告書

□ブログ反映機能申請書

□印刷機利用カード

□機材借用書（貸出）

□持込みイベント申込書・報告書

□インターネット使用簿

□窓口業務依頼申請書

□学生ボランティア依頼書

②内部用

□相談カード

□機材貸出予約簿
□拠点利用予約簿
□日計表（日別集計表・累計表・月別平均表）
□職員業務日報

2　普及・啓発及び情報収集・提供

積極的に情報収集を行い、市民活動の意義、社会課題の共有というメッセージ性を大切に発信した。拠点を活用し団体紹介のミニポスター展示をするなど、来館される方への普及・啓発も充実させ、ホームページへの支援情報、団体情報、講座レポートなど情報集積にも力を入れた。
また、市民目線のカジュアルな情報紙「ええやん新聞」を子育て世代の社会貢献意識の啓発を目的として、市内幼稚園、保育園、小・中学校へ配布した。
円卓会議やコドモジカンプロジェクトなど事業実施後はホームページ上にレポートを掲載するとともに、かわら版も作成し、事後の広報にも努めた。

（１）市民活動に関わる情報の収集及び整理

①山口市内の市民活動情報
　団体ごとの個別ファイルを作成。
②ＮＰＯ支援情報
③市外の市民活動情報
　①～③の市民活動に関する情報をファイルし、閲覧できるよう整備。
　また、団体向けには年間助成金一覧表を、分野別、締切日別に作成し掲示。

（２）広報紙の発行

登録団体への事業報告や事業のかわら版を発行し支援内容を伝える他、団体が人材不足の課題を抱えているため、市民向けの啓発紙にも力を入れ、市民と市民活動をつなぐ発信を心がけた。編集作業には市民広報スタッフを巻き込み、社会課題の当事者意識を広げる市民目線を大切にした。

①さぽらんて事業情報
　○さぽらんての平成 27 年度の事業報告ダイジェスト版
　　【対　　象】　登録団体・地域交流センター・関係各所
　　【発行部数】　600 部
　　【形　　態】　A4 サイズ　4P　手刷り
　○平成 27 年度の登録団体一覧
　　【対　　象】　登録団体
　　【発行部数】　350 部
　○さぽらんての平成 28 年度の事業方針及び事業一覧
　　【対　　象】　登録団体・地域交流センター・関係各所
　　【発行部数】　600 部
　　【形　　態】　A4 サイズ　4P　手刷り
②助成金情報
　身近な助成金を中心に隔月発行。併せて、希望団体にはメールでも毎月情報配信。
　　【対　　象】　市民活動団体向け　隔月発行
　　【発行部数】　600 部
　　【形　　態】　A4 サイズ　両面　手刷り

③ええやん新聞

平成 27 年度山口市まちづくりアンケートによると、ボランティア活動（ＮＰＯ活動）を行っている市民の割合は全体の 12.9%と決して高くはないものの、「以前やっていた」「機会があればやってみたい」と回答の市民活動予備軍ともいえる潜在市民は 46.5%にものぼる。とりわけ「機会があればやってみたい」との回答で、20～50 代が全体の 59%を占めている。

『ええやん新聞』は、身近な社会課題とともに、市民活動や市民主体の取り組みを市民目線で発信し、この層の新しい価値観との出会いや気づきを誘発、まちづくりへの参加・参画のきっかけを創出し、誰もが心豊かに暮らせる山口を目指す市民を増やすことを目的とする。

【実施ポイント】

○市民活動をより身近に感じ、共感につながるよう市民広報記者による「市民目線」での発信を行った。

○市民広報記者と発行目的を常に共有しつつ、記者自身の「知りたい！」「伝えたい！」「おもしろそう！」の直感を尊重した。

○市民広報記者の研修、テーマごとの勉強会など必要に応じて行った。

○毎号１面では、テーマに沿った社会課題に取り組む「個人の思い」を発信した。

○さぽらんてからのメッセージや取り組みも紹介し、さぽらんてと市民活動の周知につなげた。

○モニター制度を導入し、読者の生の意見感想をもとにさらなる紙面の充実を図ると共に、ターゲット世代の動向の情報収集を行った。

○まちづくりや社会課題解決に向けた初めの一歩のハードルを高くしないよう、市民活動だけでなく地域や個人の活動、取組みなどもあわせて紹介した。

【対　　象】　市民（主に子育て世代想定）　年２回発行（9/26、2/2 発行）

【発行部数】　14・15 号　各 30,000 部

【配 布 先】　市内公立幼稚園、小・中学校、21 地域交流センター、子育てひろば、一部地域回覧、他関係各所

【形　　態】　タブロイド判　カラー印刷

【ＨＰ発信】　ＰＤＦでホームページ上でも閲覧可能にした

【テ ー マ】　14 号：特集「男女共同参画社会」～第一歩は家庭から～

1P：ええやんピープル　渡辺ちい子さん＜田舎遊びの会ゆるり　代表＞

2-3P：ボイス「男女共同参画って何だろう！？」

まんが男女共同さんかく家族「参加と参画のちがい」

パパッとパパレシピ

さんかくママのはなまる活動～3 人のママの参画スタイル紹介～

4P：地域参画み～つけた！平川地区子ども見守り隊の活動紹介

たよってみ～ね　～山口市の託児情報～

クイズ、編集後記

15 号：特集「ワーク・ライフ・バランス」～心にゆとりのある生活を～

1P：ええやんピープル　長安里枝さん＜林業女子会@山口＞

2-3P：ボイス「ワーク・ライフ・バランス」を見つめよう！

まんが男女共同さんかく家族

ワーク・ライフ・バランスが実現したら、こんないいことがある！

プロボノって何？

山口で活躍する3人のプロボノ実践者を紹介
4P：おやじの会って知ってるかい？
春の野草レシピ
さぽらんてとは？
クイズ、編集後記

【読者はがき（抜粋）より】

１４号

「子育て真っ最中にも関わらずたくさんのママが活躍されているのを見てパワーをもらいました。まわりの協力のおかげで活躍出来る感謝の気持ちも忘れずに私も頑張りたいです」

「若い方のお話、とてもいいですね。私たちも子育てがしやすく住みやすい地域づくりをしていかなくてはと思いました」など

固定的な性別役割を見つめ直す、地域の取り組み活動への感謝、また多様な生き方、思いに共感する感想が多く見られた。

１５号

「仕事ばかりしていては家庭がおろそかになります。プロボノで仕事に繋がったり家庭に目が向いたりするのはとてもいいことです」

「ボランティア活動の必要性は感じているものの、毎日の仕事や家事が精一杯。プロボノは、新鮮でした。」　など

仕事以外の活動に目を向ける感想が多く見られた。特にプロボノを初めて知ったという声は多く、共感や背中を押されるような感想が伺えた。

④活動インフォメーション

毎月の市民活動情報の中から一般市民が馴染みやすい情報を選定し、紙媒体として発行。商店街のちらし入れなど、広く市民の目につくところに配置。

【対　　象】　市民向け　毎月発行
【発行部数】　偶数月1050部、奇数月660部
【形　　態】　A4サイズ　両面　手刷り

⑤さぽらんてかわら版

さぽらんて事業後に内容をわかりやすくまとめたものを発行

ア　かわら版　～特別な配慮が必要な人を見過ごさない地域防災に向けて～
【対　　象】　市民、登録団体、地域交流センター、関係各所
【発行部数】　700部
【形　　態】　A4サイズ　4P　手刷り

イ　かわら版　～地域版コドモジカンプロジェクト特別編～
【対　　象】　大内住民、登録団体、地域交流センター、関係各所
【発行部数】　1000部
【形　　態】　A4サイズ　4P　カラー印刷

（３）ホームページの運用

ホームページ上における支援と市内の市民活動情報集積をめざし、団体のブログ発信力を支援し団体の活動の見える化に努めた。団体の情報発信数は1,982件（515件増）。

また、独自の講座などは、わかりやすく講座レポートとして発信するほか、市民や活動団体への有益情報を随時お知らせとして広報。現在地域課題をわかりやすく発信するなど平成29年度10月を目指して

ホームページリニューアル作業中。

アクセス数は、115,685 件（1,265 件減）、実人数 40,319 人（604 人減）。

①ホームページ全体閲覧数

	H28 年度	H27 年度	H26 年度	H25 年度	H24 年度
アクセス数	115,685	116,951	127,223	113,536	92,782
アクセス実人数	40,319	40,923	39,606	36,889	27,518

②まちサポ広場（電子図書館）の市民活動団体利用

平成 25 年度より登録団体の基本データは全て掲載。

	H28 年度	H27 年度	H26 年度	H25 年度	H24 年度
利用団体数	297	301	290	293	128
更新団体数	64	53	55	41	34
年間記事数	1,982	1,467	1,625	1,448	1,158

（４）情報交流コーナーの活用（「さぽらんて」前面フロア）

①市民活動紹介コーナー　団体紹介ミニポスターを作成し掲示。

②助成金コーナー　展示場所を前面に出しリニューアル。

③ＮＰＯ法人情報コーナー　ＮＰＯ法人格取得に向けて情報などを設置し、掲示がマンネリ化しないようにレイアウトを随時変更するとともに、市民活動等に関する情報を分野に分け、見出しやコメントをつけて掲示し啓発。

（５）マスコミ等の活用

報道機関へ広報紙の配布及び事業ごとのプレスリリースを行い、団体の活動が新聞記事や TV ニュースにも取り上げられた。

（６）市役所ロビーにおける市民活動出張展示

さぽらんてに常設している「団体紹介ミニポスター」を転入の多い時期に、市役所ロビーにて展示することで、日頃来館する機会の少ない市民に向けて、団体情報の提供をし、市民活動啓発につなげる。「市民活動」を山口の魅力のひとつとしてアピールし、まちづくり参加への意識向上をねらっている。

団体のパンフレットはもとより、さぽらんてのパンフレットやええやん新聞などの一般市民の持ち帰り数が多く、市役所への来館者や転入者への広報手段としては有効であった。

【展示内容】

・さぽらんて情報

（さぽらんてパンフ、ええやん新聞、「支え人。」パンフ、かわら版、子育ち応援団冊子）

・登録団体活動紹介ミニポスター49 団体

（子育て 11 団体、環境 4 団体、東日本支援 3 団体、文化・国際 6 団体、まちづくり全般 16 団体、福祉 9 団体）

・団体パンフレット（20 団体、28 種）

【展示場所】

開催日：平成 28 年 3 月 24 日(木)～4 月 8 日(金)　（12 日間※土日除く）

場　所：山口市役所ロビー

3　相　談

市民活動支援の基本を相談に置き、多様な相談に対応。特に運営相談は、寄り添い支援を基本に必要な場合は専門家と連携し、誠実に対応していった。

また、商店街に設置されていることから、市民からの活動相談等も半数近くを占め、個人の活動への相談対応や、市民活動団体との橋渡しも行った。

（1）相談・問い合せへの対応

市民の市民活動への参加や市民活動団体の活動充実のために対面・電話・メールによる相談に応じ、助言を行い、内容によっては、他機関・窓口を紹介しマッチング。

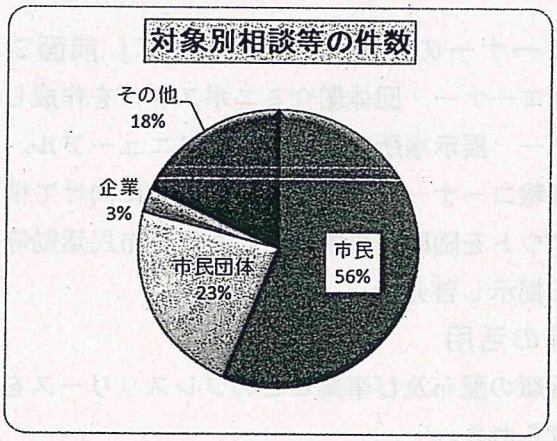
○相 談 件 数　　５４８件　（来所　286 件、　電話 262 件）

○問い合せ件数　　２３９件　（来所　137 件、　電話 102 件）

※職員の相談カードに記載された特記事項のあるものの件数は 598 件（グラフ集計総数）

【対象別相談内訳】

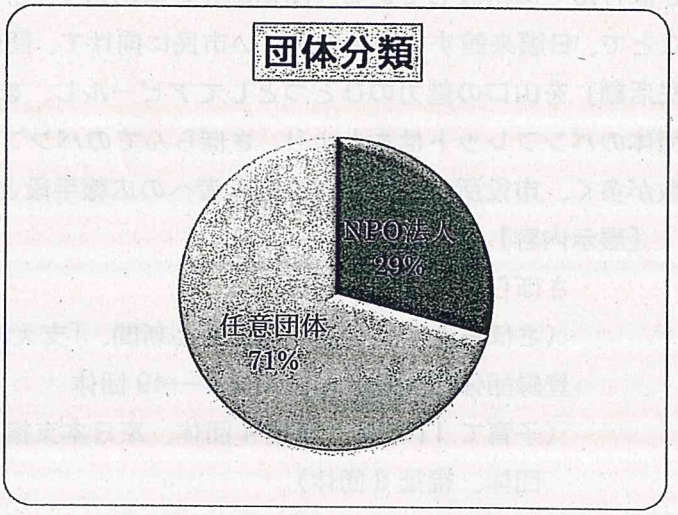
対　象	件　数
市民	336
市民団体	137
企業	17
その他	108
合　計	598



相談件数の半数以上を市民が占めている。その他の中で地域からの相談が１割あり、地域からの新たなニーズを感じた。

【団体からの相談内容種類別内訳】

団体分類	内容	件数	
ＮＰＯ法人	運営	17	40
	活動	23	
	その他	0	
任意団体	運営	18	97
	活動	73	
	その他	6	
合　計		137	137

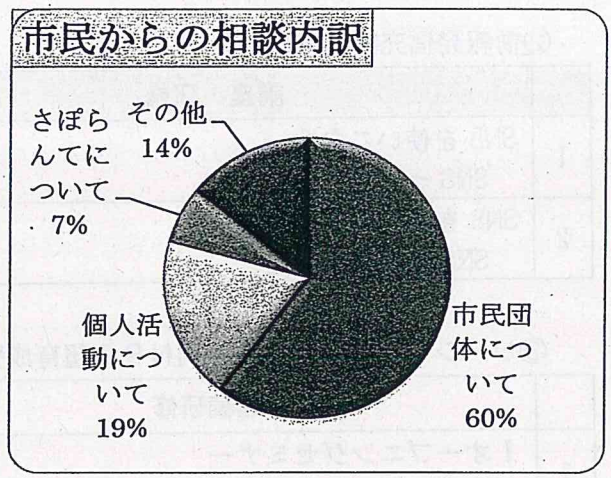


相談の３分の２を占める任意団体からは、ブログ、チラシ等情報発信の指導の他、クラウドファンディングや寄付の集め方についての相談が目をひいた。

ＮＰＯ法人からの相談は、定款やビジョン整理など運営に関することが４割を占め、残りは、助成金相談やイベントの周知に関することとなっている。

【市民からの相談内容内訳】

内　　容	件数
個人的活動について	63
さぽらんてについて	22
市民団体について	203
その他	48
合　計	336



市民からの相談の６割以上が市民活動団体への問合せ。
また、ボランティアをしてみたいなど個人的な活動についての相談も２割近くある。市民の社会貢献意欲がうかがえる。

（２）相談・問い合せの内容の一覧化

寄せられた相談・問い合せ内容を一覧化し、ＮＰＯ法人等対象別に相談内容を取りまとめ、分析し相談内容の予測を行うとともに、必要な情報や知識等の蓄積に努め相談対応に反映。

4　人材発掘・養成

公共を担っていくための「社会的信頼を得られる継続活動」に向けて、情報発信力とマネジメント力に重点をおいて、講座、研修、訪問等を行っていった。今年度は県の「ソーシャルインパクト志向ＮＰＯ超育成塾」を受託し、昨年に引き続きファンドレイジング力の強化も行った。
企業×ＮＰＯのつながりプロジェクト「支え人。」や団体訪問を通じてＮＰＯ法人の多様な財源確保・マネジメント力を支援。
全ての講座において、講座レポートをホームページにアップし、団体支援の情報として蓄積していった。

（１）講座・セミナーの開催

①　活動充実講座

	講座・研修	日付	講　師	参加者
1	助成金にチャレンジ	5/24	渡邉　洋子 ＜センター長＞	2団体 4名
2	人をよびこむチラシ講座 チラシから広報のあり方を考えよう	6/14	小柳　明子氏	8団体 10名
3	人をよびこむチラシ講座 人を惹きつける見せ方のコツ	7/12	小柳　明子氏	7団体 8名
4	市民活動団体のためのExcel活用術 Excelの基本　会計簿をつくる	11/8	武田　由佳 ＜さぽらんてスタッフ＞	6団体 9名
5	市民活動団体のためのExcel活用術 Excelの応用　いろんな使い方	1/17	藤岡　亜希子 ＜さぽらんてスタッフ＞	4団体 6名
6	ロジックモデル勉強会	2/3	長浜　洋二氏 ＜Publico　代表取締役CEO＞	9団体 23名

②情報発信充実講座

	講座・研修	日付	講　師	参加者
1	SNS を使いこなす SNS って何？	9/2	千々松　葉子氏 ＜パインワークス＞	5 団体 6 名
2	SNS を使いこなす SNS 使いこなし術	9/30	千々松　葉子氏 ＜パインワークス＞	4 団体 7 名

③ソーシャルインパクト志向ＮＰＯ超育成塾（※山口県県民活動団体中核的人材育成受託業務）

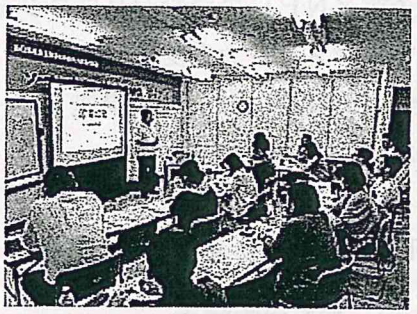
	連続研修	日付	講　師	参加者
1	Ⅰオープニングセミナー 社会を変える市民組織づくり	8/27・28	一般社団法人 日本地域福祉ファンドレイジングネットワーク COMMNET 久津摩　和弘氏	11 団体 31 名
2	Ⅱ-1 実践型ワーク 社会課題の把握＆ミッション編　Part1	9/3		7 団体 20 名
3	Ⅱ-2 実践型ワーク 社会課題の把握＆ミッション編　Part2	10/8		7 団体 19 名
4	Ⅲ-1 実践型ワーク 事業企画づくり編　Part1	10/22		8 団体 18 名
5	Ⅲ-2 実践型ワーク 事業企画づくり編　Part2	11/5		9 団体 17 名
6	Ⅳ-1 実践型ワーク ファンドレイジング編　Part1	12/10		5 団体 12 名
7	Ⅳ-2 オプションセミナー クラウドファンディング実践編　Part1	12/10	ＮＰＯ法人皆繋代表 林　陽一郎氏	5 団体 12 名

【関連支援】

期間中に全ての団体へ寄り添い支援を実施（のべ１５回）

【成果】

参加者アンケートにおいては、恒常的なファンドレイジングやクラウドファンディングへの高い意欲が見られた。1 団体においては、期間中にクラウドファンディングを実施し 143 万円もの寄付が集まった。



（２）ＮＰＯマネジメント支援

①訪問サポート　（おでかけさぽらんて）

ＮＰＯ法人の人材不足、資金不足の解決と、公共を担える安定した組織運営をめざし、まずは、理事・職員のマネジメント力をつけていくために、専門家の協力も得て複数回寄り添い、課題整理を支援。

○ＮＰＯ法人へのファンドレイジングに向けて指導：２法人へ１４回

専門家とともにクラウドファンディングの立上げをサポート。共に 1,571,000 円と 1,430,000 円を達成し 28 年度 2 団体総額で 6,000,000 万円もの寄付が集まった。

○任意団体への運営強化支援：５団体へ１５回

主にＮＰＯ法人を目指す前提での対応が多く、1 団体においては前向きに検討中。

○団体税務基礎知識勉強会：１回

②企業等への PR 活動

○女性創業セミナー（10/11）における「支え人。」のプレゼンテーション

○ソーシャルビジネス創業支援交流会（12/17）でのクラウドファンディング事例の紹介
○県央商工会会員交流会（7/7）におけるプレゼンテーション

③アワードへの推薦

「チャレンジやまぐち！地域貢献賞」（5年連続推薦団体が受賞）などの推薦を行った。
○山口市の平成28年度地域貢献賞　りす会山口

（3）企業×ＮＰＯのつながりづくりプロジェクト「支え人。」

3年目を迎えて大きな広がりはなかったものの、それぞれＮＰＯと企業のつながりは深く安定し、よいパートナーとなってきている。

【平成28年度実績】

寄付金総額　265,594円　＜NPO法人3法人に対して8社からの合計＞

3年間の寄付総額　781,048円

エントリーＮＰＯ法人：①認定ＮＰＯ法人こどもステーション山口
②認定ＮＰＯ法人支えてねットワーク
③ＮＰＯ法人あっと

協力企業：①（株）メルシー
②Natural　Therapy　Brù　（ナチュラルセラピーブルー）
③Original　Flower　Blend　Tea　RingLink（オリジナルフラワーブレンドティー　リングリンク）
④（有）寿司やす
⑤（株）モリイケ
⑥（有）ＢＡＹ　ＴＯＫＹＯ
⑦木のおもちゃ専門店　リンドヴルム
⑧ヨガルーム　Bugen　華（H27新規）※寄付金贈呈は次年度より

その他の連携：（有）ひわだや：ひきこもり就労支援
（株）ＮＦデバイステクノロジー：寄付つき商品の活用

今後も企業への理解を地道に広げ、地域をみんなで支える文化を創出したい。

（4）ＮＰＯ法人実態把握

山口県ＮＰＯ法人データベースより、山口市のＮＰＯ法人を抽出し、寄付金の現状や会計規模を整理、分析し今後の支援策を検討。

○山口市に主な事務所を置くＮＰＯ法人数：83法人＜平成28年3月末＞
○認定ＮＰＯ法人：２法人
○収入合計は13億220万円（昨年度比1,420万円減）。寄付金額の合計は1,323万円（前年度比329万円減）。事業報告書が1枚のみが32法人44%を占める。
※事業報告書の未提出法人10法人、新規認証のため報告書の提出義務なし1法人、経常収益ゼロ4法人をのぞいた合計。

【山口市のＮＰＯ法人の合計収入内訳】　（単位：円）

項目	H27年度	H26年度	H25年度
会費	23,795,139	24,692,185	26,599,543
寄付金	13,226,162	16,518,648	23,244,838
助成金	16,031,078	29,331,677	69,933,250
補助金	30,764,552	16,508,936	98,695,779
事業収益	1,218,387,716	1,229,351,116	1,158,458,816
合　計	1,302,204,647	1,316,402,562	1,376,932,226

【山口市のＮＰＯ法人の寄付金額別法人数】

寄付金額	H27 年度	H26 年度	H25 年度
0	28	27	22
1～50,000	18	15	14
50,001～100,000	6	4	5
100,001～500,000	10	12	13
500,001～1,000,000	2	2	2
1,000,001 以上	4	4	5
合　　計	68	64	61

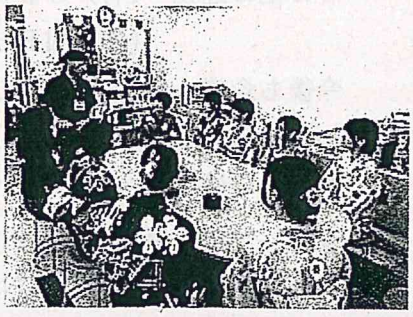
※有効対象法人数
事業報告書未提出、新規認証のため提出なし、活動計算書上の経常収益ゼロの法人をのぞいた数。
H27 年度：68/83 法人
H26 年度：64/78 法人
H25 年度：61/80 法人

○全体収入にしめる寄付金収入の割合はわずか 1.0%
○寄付金収入あり 40 法人（58.8%）そのうち寄付金額 50 万円以上 6 法人（8.8%）。

（５）若者の社会貢献の機会提供およびボランティアコーディネート事業

日本の若者は諸外国と比べて、自己肯定感が低く、「自分自身に満足している」者の割合は５割弱。特に１０代後半から２０代前半にかけて諸外国との差が大きい。また社会課題への関与や社会参加についても意識が低い。（2014 内閣府調べ）
背景として、他者に自分が必要とされていると実感できない、自分が人の役に立つという体験や達成感の少なさ、社会貢献教育を受ける機会や社会貢献参加の機会が少ないことが言われている。
そこで、若者ボランティアを必要とする市民活動団体とつなぎ、社会課題や社会貢献の意義に触れる機会と参加の場を提供するとともに、双方が共通の目的・目標をもって社会課題解決に向け活動できるようにコーディネートを行った。

日時：８月６・７日（１５時半～２１時半）
場所：さぽらんて
内容：商店街のイベント山口七夕ちょうちんまつりの夜に行う、市民活動団体のバザーに大学生、高校生ボランティアが参加。



①オリエンテーション
団体から：3.11 の被災地の現状、活動のきっかけなどの紹介
学生から：参加の動機、団体への質問
②ボランティア内容
・まかないカレーづくり
・ちょうちんの火入れ
・東日本支援チャリティポップコーンの販売
③参加者
りす会山口　５名
学生ボランティア　17 名（２日間）
山大職員　１名
④その他協力
山口の街並を着物で歩こう会（浴衣レンタル、着付け）
⑤チャリティ金額　　70,800 円（ポップコーン　708 個売上）

成果：学生からの感想に「ボランティア体験が楽しい」「やってよかった・またやりたい」「ありがとうと言われたことがうれしかった」「自分で考えて作業した」など達成感や自己を肯定することばや、「団体のことが知れてよかった」「東日本復興に関われた」など社会課題や社会貢献に関心を寄せるものが多くみられた。今後も中高生や学生向けのボランティア受け入れやプログラム内容を充実させ、大学や教育機関等と連携し気軽に参加できる機会を提供していきたい。

（６）中学生職場体験プログラム

中学生のキャリア教育を受け入れることで、「子ども向けの社会貢献教育プログラム」の確立をめざす。

日時：9月27日（火）

対象：大内中２年生　２名

内容：さぽらんての紹介をしたのちに、社会課題について考えるワークや、支援の現場を見学してもらい、ブログ記事にして発信してもらった。事前に課題図書の読み込みもお願いしたが、真剣に向き合い、理解してくれた。

（７）インターンシッププログラム

大学生本人からの申し入れにより、大学と調整して受入体制を整えた。

日時：２月２０日（月）～３月６日（月）１１日

対象：園田女子大学短期大学１年　１名

内容：オリエンテーション…さぽらんてとは？ＮＰＯとは？山口市の市民活動団体の紹介

体験：寄付ワーク、団体訪問ボランティア体験、打合せ参加、公共交通検討会参加

業務：ぷちええやん新聞編集作業、HP入力作業、ブログ発信、入金作業　等

成果：大学生の充実度も高く好評なプログラムとなった。このような機会を増やしていくことが、市民活動への理解を広げることになると確信できた。今後も計画的に受け入れを行っていけるように、山口県インターンシップ推進協議会に登録を行った。

５　協働促進・ネットワークに関する業務

（１）地域版コドモジカンプロジェクト

平成27年度の市民団体の円卓会議「さぽカフェ」からスタートした、「街中コドモジカンプロジェクト」で多く寄せられた「住んでいる地域にこういう活動があれば助かるのに」という意見をもとに、子どもが歩いていける地域単位で開催することとなった。地域づくり協議会の調整協力を頂きながら、大内の3地域での実施を支援。

①目的：地域の宝である子ども達に、遊びと学びを備えた居場所を提供すること。

地域で子どもを見守る取り組みをきっかけに地域コミュニティが活性化すること。

②内容

問田地区

日　時：7月29日（月）10：00～15：00

場　所：問田公民館、光厳寺駐車場

参加者：小学生17名　住民ボランティア５名　講師９名　運営スタッフ７名

小野地区

日　時：8月9日（火）10日（水）10：00～16：00

場　所：小野公民館

参加者：小学生39名　住民ボランティア５名　講師14名　運営スタッフ４名

氷上地区

日　時：8月19日（金）9：00～15：00

場　所：氷上公民館

参加者：小学生23名　住民ボランティア7名　講師11名
　　運営スタッフ5名

③地域支援内容

○地域の自主性を活かしたプログラム内容のコーディネート

○プログラム協力団体の紹介、調整

○開催チラシの作成

○参加者アンケートの作成、集計

○かわら版の作成

○合同報告会の運営

○活動内容広報用のDVD（各地域別、総合用4種作成）、パネル作成

④振り返り

リーダーアンケート（6名）では、継続する方向で検討すると回答した方が5名、わからないと回答した方は1名のみであった。全員が趣旨に賛同、これからの自治会運営に生かせると回答。

住んでいる地域の大人と子どもたちで協働できるところに真価があるとの回答もあった。

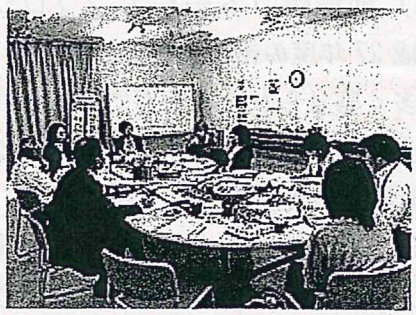
保護者に向けたグーグルアンケートでは、来年も参加させたい84%、可能な限り手伝いたいとの回答は90%にも上った。

今回の3地域は冬休みにも開催した地域が1地域あり、次年度も開催するとのこと。

地域のつながりに向けては有意義なプロジェクトであることははっきりと見えてきた。

（2）さぽカフェ（2回開催）

多様な団体や関係者を集めて行うさぽカフェ。今年度は、災害などの非常時の支援に不安を持っている市民活動団体へのヒヤリングを通して、アレルギーや発達障害などの見えない障害の方の困りごとを共有していく場が必要だと感じ開催した。



第1回　日　時：5月13日(金)10：00～12：00

場　所：さぽらんて　　参加人数：11名

参加者：市民活動団体5名、山口市協働推進課2名

テーマ：特別な配慮を必要とする人の災害時支援を考える

第2回　日　時：6月30日（木）　10：00～12：00

場　所：さぽらんて　　参加人数：11名

参加者：市民活動団体4名、山口市協働推進課2名

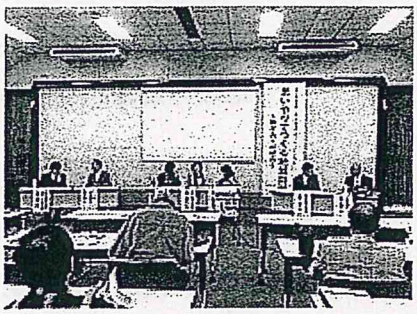
テーマ：特別な配慮を必要とする人の災害時支援を考える

以上を踏まえて、たくさんの人に知ってもらうことが災害時の不安を取り除くことになるということを共有したので、行政も巻き込んだ防災シンポジウムを開催することとなった。

（3）防災講演会～思いやりでつくる地域防災（りす会山口と山口市協働推進課と協働で実施）

さぽカフェを通じて、「特別な配慮を必要とする人の災害時支援」と題し、災害が起こったときに支援が行き届きにくいと思われる社会課題を抱えた市民活動団体、山口市の保健師に参加してもらい、防災

の専門性の高い団体のコーディネートのもと開催した。



日　時：11 月 20 日(日)9：30～12：00
場　所：パルトピアやまぐち　大ホール
参加者：７２名
講　師：防災士　佐藤一男氏（陸前高田市）
コーディネーター：山口災害救援　弘中秀治氏
　　りす会山口　金子寿徳氏
シンポジウム登壇者：田辺理恵氏＜アレルギーっ子の会ぽれぽれ＞
　　藤岡亜希子氏・福田みゆき氏
　　＜マザーズスマイル山口：発達障害児を抱えるママの会＞
　　吉村隆氏＜ＮＰＯ法人山口県腎友会＞
　　近藤氏＜山口市保健師＞

終了後、早速、児童民生委員から声がかかり、地域に話をしに行くことになったとマザーズスマイル山口さん。また入会申込みがあったというアレルギーっ子の会ぽれぽれさんからも報告を頂いた。今後地域での話し合いの要望があれば対応していきたい。

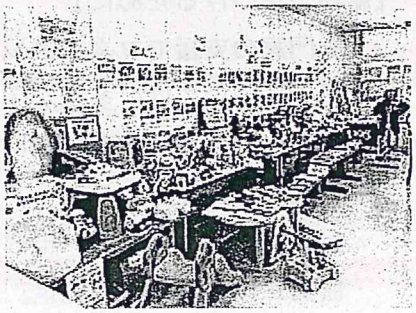
（４）おもちゃ de night　はじめの一歩支援および団体マッチング事業

複数の団体による実行委員会形式で「人・モノ」持ち寄りの共助型チャリティバザー「おもちゃ de night」を開催。事前説明、オリエンテーションの後、商店街が一年で一番にぎわう山口七夕ちょうちんまつりに併せてバザーを開催し、団体パネルを作成するなど活動 PR も行う。

日々の収益活動が収益事業に該当するか否かを押さえ、社会の信頼に応えるＮＰＯを育成するとともに、若い団体の新たな事業展開を応援するため、団体からのニーズの高い、他団体交流をしかけながら、今回は非課税で効果的な共助型バザーを企画・コーディネートした。

【内　容】

ステップ１　おもちゃ de night 実行委員参加団体募集（募集要項は別紙）：5 月初旬
ステップ２　おもちゃ de night 説明会
　　日　時：6 月 24 日（木）10 時～12 時　　参　加：4 団体＋１企業
　　内　容：参加方法によるグループ分け・納品・売上について／団体 PR 物について
ステップ３　おもちゃ de night 開催
　　日　時：8 月 6･7 日（土・日）16 時～22 時
　　内　容:グループ A が 2 時間ずつ店番。グループ B は売上の 20%を A に寄付。
　　各団体パネル・リーフレットなど設置・配布し活動を PR。
ステップ４　HP･ブログ・FB 等で情報発信



【参加団体】7 団体１企業、バザー以外の屋台参加 1
【バザー売上総額】44,650 円

事前の説明会やワークにより団体同士の交流が進んだ。
企業参加枠も設け社会貢献の場を提供。
任意団体の活動費捻出としては、最適の方法。今後も実行委員会形式をコーディネートしていきたい。

（５）山口市公共交通地域検討会（山口市交通政策課委託）

山口市が市内１０ヶ所で行う公共交通の地域検討会のプログラム作成と２か所の検討会のファシリテートを行った。

①目的：地域ニーズや実情を把握し、市民交通計画に反映するとともに、今後の事業展開に向けて地域の気運を高める

②内容

仁保・小鯖・大内

日　時：３月６日（月）14：00～16：30

場　所：大内地域交流センター

参加者：２４名

秋　穂

日　時：３月１６日（木）14：00～16：30

場　所：秋穂地域交流センター

参加者：１４名

③振り返り

課題を中心にした地域の話し合いは、初めての試み。関わった４地域の参加者は前向きだったと感じる。今後は、よりたくさんの地域住民を巻き込んで当事者意識をどう広げて行けるかが重要。その話し合いの中での意見の分類整理、情報発信、地域調査のサポートが必要。サポート体制をつくるためにも、担当課、協働推進課、地域づくり協議会との連携が前提となる。

（６）市民活動団体円卓会議

第２次協働推進プラン策定にあたりどのような支援が一番効果的であるかを吸い上げ、プランに反映するために昼の部と夜の部とそれぞれ２回ずつ実施

日　時：昼の部：11 月 14 日（月）・11 月 29 日（火）

夜の部：11 月 11 日（金）・11 月 21 日（月）

参加団体：

①フードバンク山口
②ａｉｒ結婚応援部
③認定ＮＰＯ法人支えてねットワーク
④マザーズスマイル山口
⑤認定ＮＰＯ法人こどもステーション山口
⑥AGER
⑦ａｉｎｏｗａ　project
⑧肢体不自由児親の会 amiami
⑨ＮＰＯ法人クロスロード
⑩アレルギーっ子の会ぽれぽれ
⑪ＮＰＯ法人山口県腎友会

プログラム：①自己紹介　②課題を出す　③その理由は？　④解決に向けて
⑤協働とは？　⑥協働したいこと　⑦解決したい社会課題、めざす社会

協働推進に向けての意見（抜粋）

【組織力をつけるために】

・専門家の支援でマネジメント力をつける。
・拠点については、多様な団体とつながることで可能性を見いだせる。
・さぽらんてが団体寄り添い支援の体制をつくる。

【協働推進に向けて】

・自分たちの活動が山口市の課題解決（定住促進など）につながるストーリーを持つ。
・協働プロジェクトの発信。
・地域交流センターとの円卓会議。
・市民活動団体が山口市の総合計画を知る。
・地域交流センターのコーディネート力。

【その他の協働への意見】

・異業種との連携の推進（どちらかに負担がかかると続かない）。
・市民をボランティアで巻き込む。
・地域の「あきらめ」を「希望」に変えるストーリーを持つ。
・山口のコマーシャルづくり。
・地域の人の困りごとを話し合う機会を持つ。
・小・中学校とつながる。
・地域のリーダーをＮＰＯで育成。
・地域の課題が市民に認識されるような発信を。
・地域へのＮＰＯプレゼン会の実施。

成果：団体の本音を行政と共有できたこと、団体同士の連帯感が生まれたことが何よりの成果。

（７）その他の協働促進

①担当課との定期的な情報交換会を開催

事業のめざすものなどが共有でき、ＮＰＯ訪問への同行もありパートナーとして、お互いを理解することができた。

事業の中で、コドモジカンプロジェクト体験報告会の協力を始め「ええやん新聞」の地域への回覧版の手配、立地企業へのＮＰＯのＰＲ、春の転出入時期の市役所でのロビー展示などにおいて役割分担ができスムーズに実施できた。

②山口市ふるさと納税説明会の広報等

新設された山口市ふるさと納税の寄付型の説明会の声かけを行った。

（８）その他のネットワーク

団体の主体性を尊重し合い、有機的な効果を生み出すための自発的なネットワークへの環境づくりを心がけ、また、今年度は特に企業とも連携しつながりを広げた。

①市民活動団体行事への参加

団体主催のセミナーや行事に参加し、ブログ等に紹介していった。

②商店街との連携

・商店街のイベントへの協力、団体との調整、ペナント張替などに参加。また、サンデー山口にＰＲ掲載。
・商店街主催の防災訓練への参加。

③　視察等の受け入れ

全社協のヒヤリングや平生町の視察の他、他県からの資料提供にも応じた。

④　関係各所との連携に向けて、以下のとおり関係会議等に参加。

【市民活動支援県域会議】

会議名	主　催	日付	場　所	参加者
県民活動ネットワーク会議	県民活動支援センター	5/20	パルトピアやまぐち	２名
県民活動ネットワーク会議	県民活動支援センター	3/18	パルトピアやまぐち	２名

【審議会等】

会議名	主　催	日付	場　所	参加者
山口県立大学ドリームアドベンチャープロジェクト選考会	山口県立大学	6/8	山口県立大学	１名

チャレンジやまぐち地域貢献賞選定会議	山口県	7/15	山口県庁	１名
山口県県民活動審議会	山口県	8/24	山口県庁	1名
山口県立大学ドリームアドベンチャープロジェクト報告会	山口県立大学	1/25	山口県立大学	１名

6　市民活動団体事務局支援

専属の職員や拠点を持たない団体が活動しやすいように支援。

（１）市民活動団体登録制度の運用

○平成２８年度末　登 録 団 体 数：３０３団体　（前年度３０１団体）

＜ＮＰＯ法人４３団体、その他の法人５団体、任意団体２５５団体＞

新規登録団体数：　１７団体

解 散 団 体 数：　１２団体

登録抹消団体数：　　３団体

（２）登録団体へのサービス提供

①場の利用による支援

○団体ＢＯＸ利用

要望のあった団体に、その都度設置した。

利用団体数：８１団体

○印刷機材の提供

利 用 件 数：２７５件

利用団体数：　５４団体

○会議室の提供

利 用 件 数：３５５件

利用団体数：３１団体

○市民活動団体持ち込みイベントへの提供

利 用 件 数：３７件（延べ利用日数１０６日）

利用団体数：１８団体

②事務局機能の代行による支援

郵送物等の受け取り、イベント・講座等の「連絡取次窓口」として、市民活動団体事務局機能を一部代行。

イベント・講座等の「連絡取次窓口」利用件数：１７件

③広報支援

○「さぽらんての広報紙」発送時の同封サービス

「さぽらんての広報紙」送付時に、登録市民活動団体の情報紙やチラシを同封して送付した。

なお、送付作業への協力を得ることで、協力団体同士の情報交換を併せて実施。

利用団体数：延べ４０団体（偶数月発送作業）

○マスコミ等への広報活動の助言

市民活動団体行事等において、随時、マスコミ等への記者配布等の助言を行った。

○ホームページの団体行事カレンダーへの掲載

持ち込まれた、団体のイベントちらしなどの情報は全て、ホームページの団体行事カレンダーに反映した。

④機材貸出による支援

貸出機材件数：２０６件

□ワイヤレスマイク一式	１２件	□マルチプロジェクター	１８件
□スクリーン	１５件	□パネル	２９件
□イーゼル	３４件	□長机	２８件
□ラジカセ	２件	□延長コード	９件
□台車	１９件	□その他	４０件

７　その他の事業

（１）館内募金箱の設置

東日本復興支援のため、さぽらんてでは寄付やカンパを募り、東日本復興支援活動をする市民活動団体へと配分しました。

寄付金総額　３２，９９２円

寄　付　先　①りす会山口

②福島～山口いのちの会

③山口災害救援

上記団体に１０，０００円ずつの配分

Ⅳ　運　営

１　職員体制

職員の内外研修により支援力の向上に努めるとともに、定期的（毎月）な職員ミーティングにおいて、事業企画や課題への意見交換を行い、支援力を磨き、多様な団体支援に対応できる体制を整えた。また、ローテーション勤務により平日については４～６名、休祭日については２～３名の職員配置を確保し、車の乗り入れ可能な開館１時間前の９時から対応した。

○常勤　３名　非常勤　12 名

２　意見聴取

「さぽらんて」への意見･要望を、下記のとおり随時聴取し、運営の参考とした。

○市民活動団体来所時及び相談対応時においての意見の聞き取り。

○「さぽらんてだより」同封作業時に協力市民活動団体から聞き取り。

○講座開催時の参加者アンケートによる把握。

○ええやん新聞における「モニタースタッフへのヒヤリング」、「読者アンケート」を実施し、これまで市民活動と関わりのなかった人の意見の聞き取り。

○団体訪問や取材時における団体運営課題などの聞き取り。

○カジュアルな円卓会議「さぽカフェ」により、多様な専門活動をしている人と社会課題を掘り下げた。

○インターンシップ時にもワークを行い、幅広い世代の人と社会課題意識を掘り下げた。

3　定例連絡会等

「さぽらんて」設置者：山口市協働推進課と運営ＮＰＯ職員と、よりよい市民活動支援に向けて、定例連絡会を実施。

事業実施においてのスムーズな連携、市民活動支援の意義の共有などができた。

【協働推進課情報交換会等】

日付	内　容	担当課	さぽらんて
5/9	クラウドファンディングの取り組みについて	2名	4名
6/28	大内地域との連携について	2名	4名
7/22	地域連携を中心した報告	2名	4名
12/6	今後の方向性と次年度事業について	2名	4名
2/24	次年度事業について	2名	4名
3/21	さぽらんてと今後の地域との関わり	2名	4名

※８月末から１２月にかけて、ＮＰＯ超育成塾において市民活動支援の意義を共有する打合せを４回実施。その他、円卓会議や防災シンポジウムに向けての打合せを随時実施。

【山口市協働推進課関係会議等】

会議名	主　催	日付	場　所	参加者
山口市市民活動交付金検討部会	山口市協働推進課	4/13	山口市役所	1名
山口市市民活動促進交付金検討部会	山口市協働推進課	5/25	山口市役所	1名
櫻井氏を囲んだ打合せ	山口市協働推進課	3/1	山口市役所	1名

4　職員研修

中間支援力向上のために、内外多数の講座・研修に参加し、参加後は職員間で内容を共有する時間を持った。参加講座・研修24回、のべ39名。

①運営支援のための講座・研修　12回　のべ23名

②個別テーマやワーク支援のための講座・研修　12回　のべ16名

➢　研修一覧

【運営支援のための研修】

日付	講座名	主催	場所	参加者
11/6	戦略共有会議2016in山口	中国５県中間支援組織連絡協議会	防府市地域協働支援センター	2名
11/4	ＮＰＯ会計入門第１回簿記講座	やまぐち県民活動支援センター	パルトピアやまぐち	3名
11/11	ＮＰＯ会計入門第２回簿記講座		山口ふるさと伝承総合センター	3名

12/2	ＮＰＯ会計入門第３回簿記講座	やまぐち県民活動支援センター	パルトピアやまぐち	２名
2/22	ＮＰＯのための労務セミナー			１名
3/1	地域づくり待ったなしセミナー			１名
3/22	使えるノウハウ獲得セミナー			２名
3/24	ＮＰＯ事務局に求められる３種の仕事関連知識の共有			２名
8/21	地域をよくするお金サイクルをまわそう！	防府市市民活動支援センター	ルルサス	１名
12/4	FRJ 関西 2016	日本ファンドレイジング協会	大阪大学豊中キャンパス	２名
1/21	岡崎市北部地域交流センター視察		岡崎市北部地域交流センターなごみん	２名
1/22	社会貢献教育ファシリテーター研修	日本ファンドレイジング協会	名城大学	２名

【個別のテーマやワークの支援のための研修】

5/28	男女共同参画講座１回目 「オンナの本音･オトコの本音」	山口市男女共同参画ネットワーク	山口市男女共同参画センター	２名
6/3	CAP 座談会 ～子どもの自尊心を育む～	CAP 西京	さぽらんて	２名
6/18	男女共同参画講座２回目 「憲法に見る男女」	山口市男女共同参画ネットワーク	山口市男女共同参画センター	１名
6/25	こども明日花プロジェクトボランティア説明会	NPO法人山口せわやきネットワーク	カリエンテ山口	1名
6/27	みんなで考えよう！防災災害から子どもや女性を守るために準備しておくこと	防府市市民活動支援センター	防府市市民活動支援センター	１名
7/2	生涯学習活動地域コーディネーター養成講座	山口県ひとづくり財団	山口県セミナーパーク	２名
7/6	山口市クラウドファンディング説明会	山口市ふるさと創生部創生推進課	白石地域交流センター	1名
7/16	男女共同参画講座３回目 「メディアに見る男女」	山口市男女共同参画ネットワーク	山口市男女共同参画センター	２名
8/26	UDC2016in やまぐち 地域づくりアイデアソン	山口市情報管理課	山口ケーブルビジョン㈱ 1F 地域情報交流センター	１名
11/1	高校生熟議 2016	山口県立西京高等学校	山口県立西京高等学校	１名
11/19	グラフィック･ハーベスティング基礎講座	NPO法人市民プロデュース	ソレーネ周南	１名
12/6	ママが元気になる子育て応援講座	大内まちづくり協議会健康福祉部会	大内地域交流センター	1名

Ⅴ　今後に向けて

≪市民活動団体（ＮＰＯ法人含む）の集約される課題≫
人材確保や教育、多様な財源確保に向けての体制や運営力強化がすすまない。
≪考えられる原因≫
・団体は、事業に追われ、運営体制を整える余力がない。
・非営利組織のマネジメントをどうすればよいのかわからない。

≪市民側の集約される課題≫
①学生や一般の「機会があれば活動したい」と思っている人が多いのに活動できていない。
②20代～50代の市民で「地域課題が共有できていないと思う」人は、65%以上を占める。
≪考えられる原因≫
①活動のきっかけがない。（情報がない、忙しくてもできる活動がないなど）
②地域課題を共有する機会がない。（情報がない、話し合う場がないなど）

「山口市まちづくりアンケート」や内閣府の「ＮＰＯ法人実態調査」「市民のボランティア意識調査」の報告などから上記を前提に支援を行った。

ＮＰＯマネジメント力は、ノウハウもなく事業に追われなかなか整理する時間が取れない実態があるので今後も伴走型の支援とセミナーを実施予定。市民の巻き込みについては、ええやん新聞などカジュアルな発信ツールなどを工夫し知らせて続けて行きたい。また大学生など若い世代の巻き込みは特に意識し、大学とも連携してインターンシップ募集やボランティア募集を行う。また、地域にも目を向け、地域づくり交流センターへの訪問などを通じて「コドモジカンプロジェクト」の紹介や話し合いの場づくりの支援を模索していきたい。

平成２９年度も「情報発信の充実」「ＮＰＯのマネジメント支援」「課題をテーマにした話し合いの場づくり」「若者の巻き込み」をテーマに支援力を高め、「誰もが安心して心豊かに暮らせる山口市」へ貢献していきたい。

平成２８年度
数　値　概　要

目次

■主なサービスの数値集計……１ｐ
■年間利用状況一覧……２ｐ
■累計報告一覧……３ｐ
■会議室利用一覧……　４ｐ
■印刷機利用状況一覧……　５ｐ
■持ち込みイベント一覧……　６ｐ
■電子図書館利用状況一覧……　８ｐ
■団体情報発信実態一覧……　９ｐ

平成２９年３月

山口市市民活動支援センター　さぽらんて

■主なサービスの数値集計

分類		内容		28年度	27年度	26年度
基本		入館者数		27, 714	27, 844	28, 861
		登録団体		303 (新規17、解散12、抹消３)	301 (新規16、解散3、末梢2)	290 (新規23、解散13、末梢13)
各種サービス	相談等	相談総数		548	461	501
		内訳	来所	286	271	336
			電話	262	190	165
		問合せ総数		239	328	443
		内訳	来所	137	197	286
			電話	102	131	157
	拠点活用支援	会議室利用	総数	355	316	362
			利用団体数	31	32	41
		印刷機利用	総数	275	302	303
			利用団体数	54	55	49
		団体インターネット利用		140	129	131
		持ち込みイベント	開催のべ日数	106	115	166
			イベント数	37	54	54
			利用団体数	18	22	19
		機材貸し出し件数		206	202	241
		団体BOX利用団体		81	79	103
	情報発信支援	同封サービス利用団体		40	45	52
		電子図書館	利用団体数	297	301	284
			更新記事数	1, 982	1, 467	1, 625
			更新団体数	64	53	55
			活動・お知らせ更新団体数	21	15	15
			ブログ反映機能利用団体数	43	38	36
その他		ホームページアクセス数	総数	115, 685	116, 951	127, 223
			実人数	40, 319	40, 923	39, 606

山口市市民活動支援センター「さぽらんて」利用状況【累計報告一覧表①】

	入館者数	相談件数												問い合わせ件数		団体会議利用件数	印刷機利用件数	インターネット利用件数	持ち込みイベント件数	同封送付利用団体数	登録団体数累計		備考
		来所						電話等													単年(増減)	累計	
		市民	市民団体	行政	企業	その他	計	市民	市民団体	行政	企業	その他	計	来所	電話等								
平成13年度	3,033						272						90	----	----	67	71	305	----	----	97	97	4ヶ月間
平成14年度	13,767						528						172	----	----	288	545	3,188	----	76	47	144	
平成15年度	16,989						232						52	----	----	469	571	4,496	----	120	35	179	
平成16年度	20,528						272						109	----	----	539	594	4,066	----	137	22	201	
平成17年度	22,051						165						46	305	164	563	504	3,159	47	148	45	246	
平成18年度	17,535						132						65	174	126	564	481	2,128	53	109	13	259	
平成19年度	32,801	46	132	11	15	25	229	23	105	9	9	18	164	294	360	395	613	1,878	119	116	13	272	
平成20年度	32,381	52	50	2	8	13	125	22	63	7	5	18	115	449	190	273	427	1,478	78	100	8	280	
平成21年度	32,748	88	89	5	4	14	200	27	38	3	3	4	75	635	277	317	506	1,493	151	105	0	280	
平成22年度	26,241	53	61	5	5	20	144	21	35	4	4	5	69	527	213	333	429	1,381	227	73	−18	262	
平成23年度	30,124	74	83	1	3	21	182	38	43	5	2	17	105	224	143	389	432	1,305	188	92	−10	252	
平成24年度	28,471	115	150	10	16	58	349	48	43	15	8	20	134	382	147	351	382	125	115	88	23	275	
平成25年度	31,401	61	120	10	17	37	245	22	31	5	3	15	76	297	113	477	339	80	96	39	18	293	
平成26年度	28,861	146	144	5	10	31	336	75	59	4	5	22	165	286	157	362	303	131	117	52	−3	290	
平成27年度	27,844	134	94	5	13	25	271	81	61	15	8	25	190	197	131	316	302	129	115	45	11	301	
平成28年度 4月	1,740	8	11	0	5	3	27	5	1	1	0	5	12	21	17	39	29	10	6	5	2	303	
5月	2,799	14	11	1	1	6	33	11	3	0	1	4	19	15	7	32	32	13	4	2	1	304	
6月	2,085	10	6	3	0	4	23	16	7	2	0	2	27	35	12	30	22	9	4	3	2	306	
7月	2,574	19	9	0	1	2	31	9	6	0	0	8	23	15	8	31	23	10	15	0	3	309	
8月	4,683	21	14	0	1	0	36	14	5	0	0	0	19	14	10	24	21	10	29	8	−1	308	
9月	2,296	10	2	0	0	0	12	8	3	0	1	2	14	9	10	30	29	16	13	0	1	309	
10月	2,591	15	11	1	1	1	29	9	10	2	1	3	25	11	16	37	25	17	4	7	0	309	
11月	2,065	18	9	0	1	3	31	12	6	2	1	2	23	4	8	27	20	10	2	2	3	312	
12月	2,289	11	7	1	0	0	19	16	3	2	1	6	28	4	3	22	13	10	10	5	−1	311	
1月	1,375	11	3	1	0	2	17	8	3	2	1	3	17	3	2	31	17	9	1	2	0	311	
2月	1,508	6	5	0	0	1	12	19	6	3	0	2	30	2	9	24	20	8	10	5	0	311	
3月	1,709	8	4	2	1	1	16	15	6	1	0	3	25	4	0	28	24	18	6	1	−8	303	
計	27,714	151	92	9	11	23	286	142	59	15	6	40	262	137	102	355	275	140	104	40	2	303	
累計	392,489						3,968						1,889	3,907	2,123	6,058	6,774	25,482	1,410	1,340		303	

山口市市民活動支援センター「さぽらんて」 利用状況 【累計報告一覧表②《月平均》】

月平均数		入館者数	相談件数		問い合わせ件数		総件数	団体会議利用件数	印刷機利用件数	インターネット利用件数	持ち込みイベント件数	同封送付利用団体数	登録団体数
			来所	電話等	来所	電話等							
平成13年度	月平均	758	68.0	22.5	---	---	90.5	16.8	17.8	76.3	---	---	24.3
平成14年度	月平均	1,147	44.0	14.3	---	---	58.3	24.0	45.4	265.7	---	6.3	3.9
平成15年度	月平均	1,416	19.3	4.3	---	---	23.7	39.1	47.6	374.7	---	10.0	2.9
平成16年度	月平均	1,711	22.7	9.1	---	---	31.8	44.9	49.5	338.8	---	11.4	1.8
平成17年度	月平均	1,838	13.8	3.8	25.4	13.7	56.7	46.9	42.0	263.3	3.9	12.3	3.8
平成18年度	月平均	1,461	11.0	5.4	14.5	10.5	41.4	47.0	40.1	177.3	4.4	9.1	1.1
平成19年度	月平均	2,733	19.1	13.7	24.5	30.0	87.3	32.9	51.1	156.5	9.9	9.7	1.1
平成20年度	月平均	2,698	10.4	9.6	37.4	15.8	73.3	22.8	35.6	123.2	6.5	8.3	0.7
平成21年度	月平均	2,729	16.7	6.3	52.9	23.1	98.9	26.4	42.2	124.4	12.6	8.8	0.0
平成22年度	月平均	2,187	12.0	5.8	43.9	17.8	79.4	27.8	35.8	115.1	18.9	6.1	−1.5
平成23年度	月平均	2,510	15.2	8.8	18.7	11.9	54.5	32.4	36.0	108.8	15.7	7.7	−0.8
平成24年度	月平均	2,373	29.1	11.2	31.8	12.3	84.3	29.3	31.8	10.4	9.6	7.3	1.9
平成25年度	月平均	2,617	20.4	6.3	24.8	9.4	60.9	39.8	28.3	6.7	8.0	3.3	1.5
平成26年度	月平均	2,405	28.0	13.8	23.8	13.1	78.7	30.2	25.3	10.9	9.8	4.3	−0.3
平成27年度	月平均	2,320	22.6	15.8	16.4	10.9	65.8	26.3	25.2	10.8	9.6	3.8	0.9
平成28年度	4月	1,740	27	12	21	17	77	39	29	10	6	5	2
	5月	2,799	33	19	15	7	74	32	32	13	4	2	1
	6月	2,085	23	27	35	12	97	30	22	9	4	3	2
	7月	2,574	31	23	15	8	77	31	23	10	15	0	3
	8月	4,683	36	19	14	10	79	24	21	10	29	8	−1
	9月	2,296	12	14	9	10	45	30	29	16	13	0	1
	10月	2,591	29	25	11	16	81	37	25	17	4	7	0
	11月	2,065	31	23	4	8	66	27	20	10	2	2	3
	12月	2,289	19	28	4	3	54	22	13	10	10	5	−1
	1月	1,375	17	17	3	2	39	31	17	9	1	2	0
	2月	1,508	12	30	2	9	53	24	20	8	10	5	0
	3月	1,709	16	25	4	0	45	28	24	18	6	1	−8
	月平均	2,310	24	22	11	9	66	30	23	12	9	3	0

■平成28年度　会議室利用

31団体が　　355件利用

No.	団体名	前スペース	会議室	ワークスペース	和室	合計
1	山口日仏協会		42	2		44
2	明日を紡ぐ大地の会		40			40
3	日本語クラブ山口	44	41	1		86
4	YAN～山口アートネットワーク	3	7	1		11
5	ときめき会		14			14
6	山口川柳吟社	1	19	6	1	27
7	アムネスティ山口グループ		9		1	10
8	山口シティカレッジOB会	2	9			11
9	monte bocca				4	4
10	NPO法人　コミュニティ友志会		4	9	11	24
11	山口IYEO		1			1
12	ピース☆バンビーノ	1			4	5
13	ハミングバード	1				1
14	被爆二世の会		2			2
15	よつばの会	14				14
16	あしなが学生募金事務局　山口県	1	4	1	3	9
17	山口市原爆被害者の会		1			1
18	一の坂川ほたる広場の会		1			1
19	山口市観光ボランティアの会		1			1
20	ぶどうの木～山口市子どもと読書ネットワーク		2			2
21	トリネコ		2			2
22	アレルギーっ子の会ぽれぽれ	3	2			5
23	国際交流ボランティア山口		2			2
24	きっずクラブふぁいと	2				2
25	要約筆記サークルやまびこ	12				12
26	山口ブルーグラスファミリー	2	2	1		5
27	YVEC(ワイベック)				13	13
28	山口の街並みをきもので歩こう会		1			1
29	竹林ボランティア山口		1	1		2
30	スローフードライフ和	1		1		2
31	特定非営利活動法人 あっと				1	1
合　計		87	207	23	38	355

※会議室利用については上記のほか、登録団体による持込みイベントやさぽらんて主催のイベント、会議などがあります。

≪平成28年度　印刷機利用内訳≫

54団体　275回利用

No.	団体名　（利用回数順）	利用回数
1	劇団笛	23
2	明日を紡ぐ大地の会	19
3	山口シティカレッジOB会	17
4	山口日独協会	16
5	おしゃべり農園	13
6	ぶどうの木	12
7	山口市観光ボランティアガイドの会	12
8	山口自然史同好会	11
9	フリースクールAUC	10
10	トネリコ	9
11	マザーズスマイル山口	9
12	一の坂川ほたる広場の会	7
13	亀山公園を愛し育てる会	7
14	CAP西京	6
15	あっと（てとてと）	6
16	田舎遊びの会　ゆるり	6
17	ぶち楽山口	6
18	山口友の会	6
19	劇団シバイヌ	5
20	西京シネクラブ	5
21	スタジオイマイチ	5
22	ひつじの会	5
23	未来の子ども達プロジェクト山口	5
24	YAN	4
25	グリーフサポートやまぐち	4
26	ピース★バンビーノ	4
27	やまぐち障がい者解放センター	4

No.	団体名　（利用回数順）	利用回数
28	ときめき会	3
29	山口消費生活研究会	3
30	山口連歌の会	3
31	アレルギーっ子の会　ぽれぽれ	2
32	福島～山口　いのちの会	2
33	フリースクール カオス	2
34	山口市原爆被害者の会	2
35	山口盲ろう者友の会	2
36	よつばの会	2
37	With　Wan	1
38	アトリエほびっと	1
39	音声訳グループ　みずの会	1
40	暮らしあんしんネット	1
41	国際交流ボランティア山口	1
42	さくらんぼクラブ	1
43	竹林ボランティア山口	1
44	突撃！？喜劇病棟	1
45	美笑夢の会	1
46	む一ぶ・move	1
47	メディエーター	1
48	山口アートネットワーク	1
49	山口県環境保全型農業推進研究会	1
50	山口県障害者スポーツ協会	1
51	山口県青年国際交流機構	1
52	山口国際交流芸術祭実行委員会	1
53	山口市男女共同参画ネットワーク	1
54	優美っくす	1
	計	275回

■平成28年度　持込みイベント一覧表

○さぽらんてを活用して、１８団体による３７件のイベントが１０６日間開催されました

No	開催日	イベント名	団体名
1	4/1～4/2	原爆展	被爆2世の会
2	4/2	シブチャム　ロボットセミナー	マザーズスマイル山口
3	4/2	朗読会	被爆2世の会
4	4/3	犬猫譲渡会	よつばの会
5	5/1	犬猫譲渡会	よつばの会
6	4/24	ハンマーダルシマー体験会	支えてねットワーク
7	5/5	作品紹介＆バザー	アス・ワーク
8	5/15	犬猫譲渡会	よつばの会
9	5/29	山口野点じんじんチーム　準備イベント	山口野点じんじんチーム
10	6/2	CAP座談会	CAP西京
11	6/5	犬猫譲渡会	よつばの会
12	6/19	犬猫譲渡会	よつばの会
13	6/21	ten-ten	モンテボッカ
14	7/3	犬猫譲渡会	よつばの会
15	7/10～7/26	福島の子供の保養写真展	福島～山口いのちの会
16	7/31	犬猫譲渡会	よつばの会
17	8/1～8/11	さをり織体験会	SAORI山口
18	8/13	書道・水墨画・リボンレイのチャリティー交流	国際交流ボランティア山口
19	8/14～8/31	平和のツリー　2016	ピース★バンビーノ
20	8/21	犬猫譲渡会	よつばの会
21	9/1～9/13	犬猫写真展	よつばの会
22	9/4	犬猫譲渡会	よつばの会
23	9/6	CAP座談会	CAP西京
24	9/11	犬猫譲渡会	よつばの会
25	10/2	犬猫譲渡会	よつばの会
26	10/28～10/30	いのちつないだ♡ワンニャン写真	ウィズ　ワン
27	11/6	犬猫譲渡会	よつばの会
28	11/20	犬猫譲渡会	よつばの会
29	12/4	犬猫譲渡会	よつばの会
30	12/19～12/26	ちぎり絵展示即売	美笑夢の会
31	12/25	しめ縄販売＆ミニフリマ	よつばの会

■電子図書館利用状況

○利用団体(基本情報アップ)　297団体
○活動レポート件数　15団体　72件
○お知らせ件数　18団体　95件
○ブログ反映機能利用団体　43団体　1815件

	団体名	活動レポート	お知らせ	ブログ反映機能
1	認定非営利活動法人　こどもステーション山口			25
2	特定非営利活動法人　あっと			19
3	特定非営利活動法人　大路小路まち・ひとづくりネットワーク			80
4	特定非営利活動法人　支えてねットワーク			64
5	特定非鋭利活動法人　里山ネットワーク			43
6	特定非営利活動法人　ひつじの会	1		
7	特定非営利活動法人　ふれあいの家鴻の峯			8
8	特定非営利活動法人　あとう観光協会			113
9	特定非営利活動法人　山口ウッドムーンネットワーク			35
10	特定非営利活動法人　スペシャルオリンピクス			68
11	特定非営利活動法人 フリースクールAUC(エイ・ユー・シー)			1
12	特定非営利活動法人　山口現代芸術研究所(YICA)	3	1	
13	肉球生活向上委員会With Wan	13	10	
14	air結婚応援部			37
15	NICUママネットのぴっこ			6
16	Paece★Bambino(ピース★バンビーノ)			4
17	Yan			4
18	アレルギーっ子の会ぽれぽれ			17
19	国際交流ひらかわの風の会			11
20	こどもと本とジョイントネット21・山口	1	14	
21	西京シネクラブ			15
22	スウィートポップコーン			23
23	すこやか育ち隊			41
25	竹林ボランティア山口			7
26	中山間地域活性化研究会	3	6	
27	手づくり絵本の会	2	2	
28	ビューティケア山口			13
29	ほたるネット			15
30	山口イベント情報局			6
31	山口の街並みを着物で歩こう会			6
32	よつばの会			47
33	りす会山口(あらいぐま作戦in山口)			19
34	やまぐち食育くらぶ			415
35	monte　bocca(モンテボッカ)			8
36	マザーズサポートfafa			4
37	田舎遊びの会　ゆるり			17
38	よがんすママン			18
39	山口県避難移住者の会			30
40	YVEC(ワイベック)	1	1	
41	山口災害救援			3
42	TeamBONDS			337
43	マザーズスマイル山口			57
44	循環する地域づくり研究所			17
45	NPOコミュメィア	1	1	
46	図書館と友だちの会・秋穂		2	
47	あいお文化倶楽部		3	
48	アムネスティー		1	
49	一の坂ホタル広場の会			56
50	福島～山口いのちの会			20
51	山口腎友会			20
52	シニアネット光			6
53	ハッピーマム			33
54	すろーふーどらいふ山口ネット・和	7	12	
55	モーリのクリエイション山口	1		
56	山口友の会			38
57	囲炉裏の会	2	1	
58	山口ネットワークス	1	9	
59	山口県ボッチャ協会		6	
60	林業女子@山口			9
61	山口中山間地域活性化研究会	3	8	
62	チャルカ　夢紡ぎの会	2	2	
63	山口日独協会		1	
64	山口エコ倶楽部	31	15	
合　計		72	95	1815
合計(団体数)		15	18	43

■団体情報発信実態

※電子図書館利用団体(297団体)中、28年度更新かあった64団体の実態調査を実施。

分類	項　目	団体数	
		H28年度（64団体）	H27年度（58団体）
わかりやすい活動発信	定期的に活動を掲載している	50	42
	活動の雰囲気が伝わる	45	45
	イベントや講座などのお知らせを2週間前には掲載している	44	42
	イベントや講座などの様子を毎回掲載している	38	40
	文章に5W1Hが盛り込んである	26	31
	写真が活用してある	54	54
	映像が活用してある	3	4
団体概要	団体の活動のきっかけがわかる	36	40
	団体の目的がわかる	59	56
	1年間の活動予定がわかる	8	8
	団体の規模がわかる	38	42
	定款・会則が掲載してある	43	47
	年間の事業報告が掲載してある	12	14
	年間の決算報告が掲載してある	12	14
	団体の連絡先が掲載してある	47	45
巻き込み	団体の連絡先が1クリックで見れる場所に掲載してある	46	44
	会員もしくはボランティアメニューが掲載してある	13	11
	寄付のお願いが掲載してある	6	5
	団体の目的や公益性がわかりやすく掲載されている	41	41
体制	ブログ更新に複数の担当が関わっている	23	24
	情報発信から組織のマネジメントを理解している担当者がいる	18	21